

平成26年度 東京都・豊島区合同帰宅困難者対策訓練の実施について

1 目的

- (1) 豊島区帰宅困難者対策計画に基づく各取り組みの実施
- (2) 区と池袋駅周辺混乱防止対策協議会の役割分担及び機能の検証
- (3) 協定に基づく一時待機場所及び一時滞在施設の開設・運営の検証
- (4) 災害情報伝達メディア運用の検証
- (5) 広域自治体との連携の検証

2 想定

平成27年2月5日（木）午前10時00分
東京湾北部を震源とした首都直下地震が発生、豊島区内の震度は6弱から6強
鉄道等の公共交通機関の運行が停止し、池袋駅周辺に多くの滞留者が発生

3 主催

豊島区、池袋駅周辺混乱防止対策協議会、東京都
(特別協力：東京商工会議所)

4 実施日時

平成27年2月5日（木）午前9時00分から正午

5 実施場所

池袋駅及びその周辺（※別紙「訓練会場一覧（案）」参照）

6 参加者

豊島区、池袋駅周辺混乱防止対策協議会、東京都、埼玉県、東京商工会議所、一般公募による個人、駅周辺事業所等
合計 約3,000名（うち帰宅困難者役 500～800名程度）

7 訓練概要（案）

公共交通機関が停止、駅周辺に滞留者が多数発生したことを想定し、多様な災害情報伝達手段を活用して滞留者に対する情報提供を行い、発災から帰宅支援まで概ね3日間の一連の訓練を実施

(1) 活動拠点

活動拠点	訓練場所	訓練概要	訓練担当
災害対策本部	豊島区役所本庁舎	・情報収集、判断、指示	区職員
現地連絡調整所	JR池袋駅	・各活動拠点と情報通信	事業所、区職員
情報提供ステーション	東口タクシープール 西口駅前広場	・現地連絡調整所との情報通信 ・滞留者への情報提供	商店会、事業所、区職員
一時待機場所	アゼリアロード オレンジロード	・誘導、一時待機、備蓄食料等配布、一時滞在施設へ誘導	各事業所
	池袋ショッピングパーク 池袋東武ホープセンター	・一時待機、一時滞在施設へ誘導	

一時滞在施設	第一イン池袋 東京信用金庫本店 帝京平成大学 ホテルメトロポリタン 東京芸術劇場 等	・地上滞留者を直接受入れ又は一時待機場所から誘導 ・開設・運営（受入れ、ボランティアと設営、備蓄物資配布、安否確認等）	各事業所
各事業所	各事業所	・帰宅抑制、自衛消防訓練等 ・現地連絡所等との情報通信	各事業所
災害時帰宅支援ステーション	コンビニ・カラオケ	・水道水の提供、トイレの使用、情報の提供等	各事業所
バス搬送	都営バス	・要配慮者の搬送	都職員

(2) 訓練内容（案）

①一斉帰宅の抑制

- ・池袋駅構内、大規模集客施設などの利用者を保護し、一斉帰宅を抑制
- ・従業員とその家族による災害時伝言板等を活用した安否確認

②一時滞在施設への誘導（正確で迅速な情報提供）

- ・防災行政無線の屋外拡声器、デジタルサイネージ、メールなどを利用し、帰宅困難者に情報提供を行ない、一時滞在施設へ誘導

③一時滞在施設の運営

- ・帰宅困難者を一時滞在施設に受入れ、受付・給食・仮宿泊訓練等を実施

④帰宅支援

- ・災害時帰宅支援ステーション（コンビニ・カラオケ等）の開設
- ・バスによる要配慮者の埼玉県（さいたま新都心）への搬送

8 広報

広報としま平成 27 年 1 月 11 日号に掲載予定

9 訓練イメージ



一時待機場所運営訓練



一時滞在施設運営訓練



情報提供訓練(デジタルサイネージ)



情報提供訓練（メール）



現地連絡調整所運営訓練



情報提供ステーション運営訓練

訓練会場一覧(案)

池袋駅周辺図

